

よがんす可部感謝祭2020「夏の陣」



安佐北区の産直市「よがんす可部」は、日頃のご愛顧に感謝を込めた感謝祭「夏の陣」を7月11日に開催。地元産の新鮮野菜や花などが2割引きとあって、早朝6時30分から開催した朝市は、いつもご利用いただいている地元の方など多くの来場者でにぎわいました。

エコープマーク品を使って簡単料理教室
レディースクラブ八木支部

LC八木支部は、安全・安心で地球環境にやさしく、国産原材料を優先使用しているJAグループのプライベートブランドのエコープマーク品を支部活動に積極的に利用しています。7月15日の料理講習会では、会員から料理の幅を広げたいと声があがっていた「糸寒天」を使って、ハムとキュウリの和え物や中華風スープを作りました。さらに、海藻を使ったゼリーの素で作る茶巾しばりゼリーにも挑戦。中西妃香里支部長は「商品は使ってみて初めて良さがわかるので、今後も活用していきたい」と話しました。



白木支店を町たんけん 高南小学校

7月15日、安佐北区の高南小学校2年生6名が白木支店に「町たんけん」に訪れました。購買店舗や農機センターを見学し、それぞれ担当職員から説明を受けた児童らは「JAではどんな仕事をしているのか」「お店ではどんなものを売っているのか」など興味津々で質問をし、JAの仕事について学びました。

水稻の病害虫防除について講義
可部地域農業基礎講座

7月29日、安佐北区役所が主催した可部地域農業基礎講座で、JA広島市の和田信幸技術主幹が、水稻の病害虫防除をテーマに講義をしました。42



名の参加者に、トビイロウンカなどに対する出穂前の防除などについて説明しました。参加者からは「初めて参加したが参考になった」「農薬や肥料、水管理などについて教えてほしい」などの感想や意見が寄せられました。

生産現場やJAの役割を大学生に発信
JAの食農教育出張授業

JA広島市は食農教育活動の一環として、6月1日に東区の比治山大学で出張授業を行いました。管理栄養士や栄養教諭などを旨とする1年生38名に、営農振興課の松木忠幸課長が「JA特産品のPR、活用について」と題して、新型コロナウイルス感染拡大の影響により変化した農畜産物の需要など社会情勢を交えて、JAの役割や生産緑地制度など都市農業の現状、管内産の農畜産物などを紹介。「地域社会におけるJAの役割を初めて知った」「たくさんの産地があることに驚いた」など、JAや「食」の根幹である「農」への理解を深めた学生たちは、身近にある農畜産物を使ったオリジナルレシピの作成など新たなPR方法を検討し、秋にその成果を発表する予定です。

コンクール入賞作品を限定パッケージに
広島協同乳業「おいしい牛乳県北搾り」

昨年度、JAグループが開催した「ごはん・お米とわたし作文・図画コンクール」で入賞した、西区の井口台中学校の榎本陸斗さんの花田植えをテーマにした図画作品が、広島協同乳業株の「おいしい牛乳県北搾り」のパッケージに期間限定で掲載されることとなりました。北広島町産の生乳で作られた「おいしい牛乳県北搾り」の限定パッケージ商品は、9月末頃まで県内のスーパーなどで販売されますので、ぜひご購入ください。

